



# 風水害

災害時の情報

風水害

地震

避難・日ごろの備え

ハザードマップ

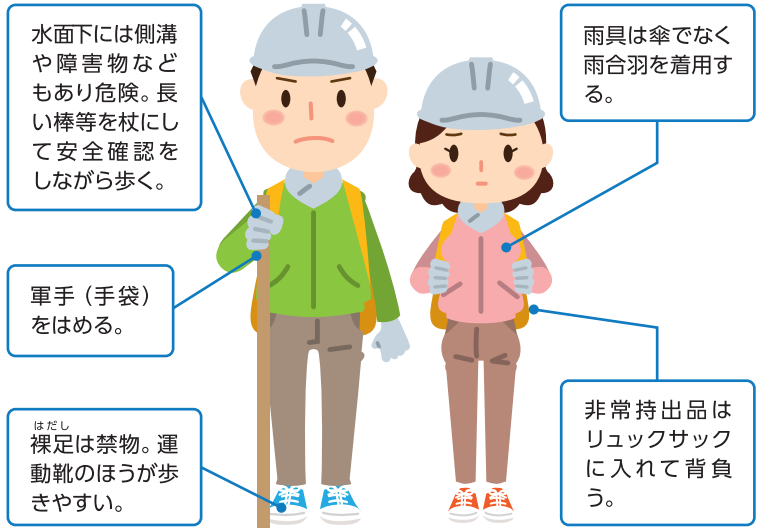


## 風水害時の避難行動

### 避難時の注意点

#### 避難するときの服装

- 動きやすいものを着用し夏場でも長袖、長ズボンを着用しましょう。(けが防止)
- 冬場は、必ず暖かい防寒服(ダウンジャケット、ジャンパー、手袋など)を着用しましょう。
- ヘルメットや防災頭巾を着用し、靴は底の厚い平らなもの、はき慣れたものにしましょう。
- 非常持出品等の荷物はリュックサックに入れて、両手が使えるように背負いましょう。



#### 避難方法

避難は、原則徒歩で行いましょう。高齢者・障がい者など歩行が不自由な方を伴った避難以外は、車での避難は避けてください。渋滞が発生し緊急車両が通れないといったことが起きてしまいます。



#### 垂直避難・水平避難とは

垂直避難とは、洪水や津波の際に家や避難施設の高所階に上がって避難することをいいます。また、地震や火災では上階から地上へ下りて避難することなどをいいます。

水平避難とは、避難場所・避難所など安全な場所へ避難することをいいます。ただし、屋外へ出て避難することが危険な場合は、垂直避難をして安全を確保しましょう。



状況に応じて適切な避難行動をとろう!



## 警戒レベルを知っておきましょう

西日本を中心に甚大な被害をもたらした平成30年7月豪雨では、災害時に避難・気象・水位に関する情報があふれ、適切な避難行動につながりませんでした。

これをふまえ、情報の意味を直感的に理解できるよう、防災情報を5段階の警戒レベルにより提供します。



### 警戒レベル

自治体が発令する避難情報等に付される数字で、災害発生のおそれの高まりに応じて住民の方々がとるべき行動と当該行動を住民の方々に促す情報とを関連づけるものです。

### 警戒レベル相当情報

国土交通省、気象庁、都道府県等が発表する防災気象情報に付されるもので、住民の皆さんが主体的に避難行動等を判断するための参考となる状況情報です。



必ず順番どおりに発令されるものではありません。常に備えましょう。

いざというとき避難をするのか、避難しないのか、どこに避難するのか、決めるのは自分自身です。非常時には上記の避難情報だけに頼らず、状況を見て自ら避難行動をとりましょう。

## 避難情報の違いを知っておきましょう

自治体が発令する避難情報とその意味を知り、自ら率先して適切な避難行動をとり、周りの人にも避難を呼びかけましょう。

警戒レベル	避難情報の種類	避難行動
	避難準備・高齢者等避難開始	避難に時間を要する人は、支援者と共に安全な場所へ避難してください。その他の人は避難の準備を整えとともに、以後の防災気象情報、河川水位の情報等に注意し、自発的に避難を始めてください。
	避難勧告	指定緊急避難地等、安全な場所へ避難してください。
	避難指示(緊急)	災害が発生するおそれが極めて高い状況等になっており、緊急に避難してください。※状況に応じて緊急的又は重ねて避難を促す場合などに発令されるもので、必ず発令されるものではありません。
5	災害発生情報	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとってください。※災害が発生した場合に必ず発令されるものではありません。

※警戒レベル等は変更になる可能性もあります。



# 風水害

## 雨と風の強さ

### 雨の強さと降り方

- 10mm以上20mm未満・・・ザーザーと降る雨。雨の音で話し声が聞き取りにくい。
- 20mm以上30mm未満・・・どしゃ降り。傘をさしていてもぬれる。
- 30mm以上50mm未満・・・バケツをひっくり返したように降る。道路が川のようになる。
- 50mm以上80mm未満・・・滝のように降る。傘は全く役に立たなくなる。
- 80mm以上・・・恐怖を感じる。水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。



やや強い雨  
(10mm以上20mm未満)



強い雨  
(20mm以上30mm未満)



激しい雨  
(30mm以上50mm未満)



非常に激しい雨  
(50mm以上80mm未満)



猛烈な雨  
(80mm以上)

### 風の強さと吹き方

- 10m以上15m/秒未満・・・風に向かって歩きにくくなる。樹木全体が揺れ始める。
- 15m以上20m/秒未満・・・風に向かって歩くことが困難。電線が鳴り始める。
- 20m以上25m/秒未満・・・何かにつかまっていないと立ってられない。瓦など飛散するものがある。
- 25m以上30m/秒未満・・・立ってられない。樹木が倒れることがある。
- 30m/秒以上・・・屋外での行動は極めて危険。走行中のトラックが横転する。



やや強い風  
(10m以上15m/秒未満)



強い風  
(15m以上20m/秒未満)



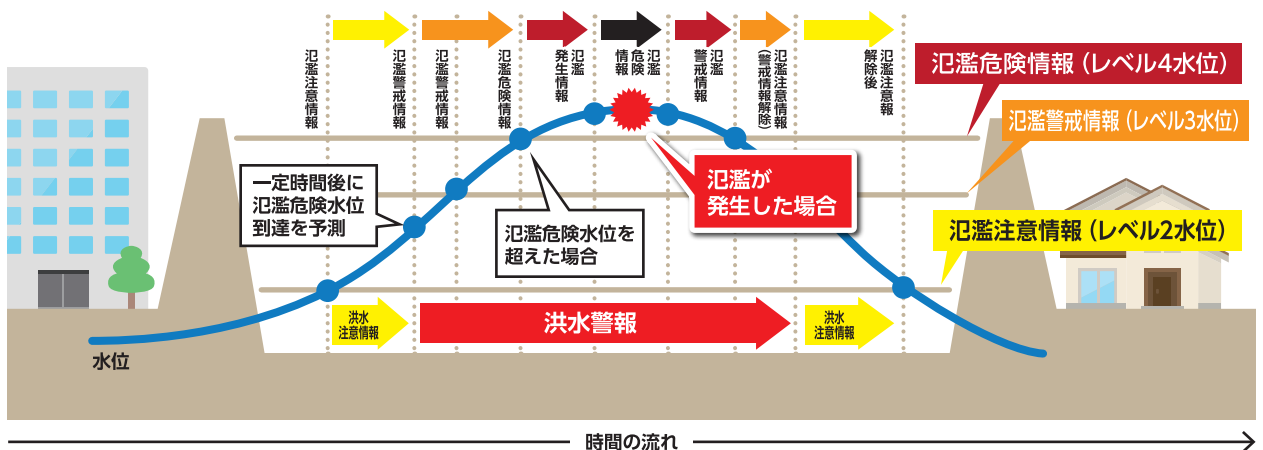
非常に強い風  
(20m以上30m/秒未満)



猛烈な風  
(30m/秒以上)

## 洪水予報の種類

- 氾濫注意情報** 氾濫注意水位（警戒レベル2相当）に達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合
- 氾濫警戒情報** 一定時間後に避難判断水位（警戒レベル3相当）に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合、あるいは氾濫危険水位（警戒レベル4相当）に到達が見込まれる場合
- 氾濫危険情報** 氾濫危険水位（警戒レベル4相当）に到達した場合
- 氾濫発生情報** 氾濫の発生（警戒レベル5相当）





# 土砂災害時の避難行動



土砂災害によって命に危険が及び避難行動が必要となるタイミング(判断基準)とエリア(対象区域)の考え方については、「避難勧告等に関するガイドライン」(内閣府)において次のように例示されています。

色が持つ意味	住民等の行動の例※1	内閣府のガイドラインで発令の目安とされる避難情報	相当する警戒レベル※2
<b>極めて危険</b> すでに土砂災害警戒情報の基準に到達	過去の重大な土砂災害発生時に匹敵する <b>極めて危険</b> な状況。命に危険が及び土砂災害が <b>すでに発生</b> していてもおかしくない。 <b>この状況になる前に</b> 土砂災害危険箇所や土砂災害警戒区域の外の少しでも安全な場所への <b>避難を完了しておく必要がある</b> 。	<b>避難指示(緊急)</b>	<b>4</b> 相当
<b>非常に危険</b> 2時間先までに土砂災害警戒情報の基準に到達すると予想	命に危険が及び土砂災害がいつ発生してもおかしくない <b>非常に危険</b> な状況。 <b>速やかに</b> 土砂災害危険箇所や土砂災害警戒区域の外の少しでも安全な場所への <b>避難を開始する</b> 。	<b>避難勧告</b>	<b>4</b> 相当
<b>警戒(警報級)</b> 2時間先までに警戒基準に到達すると予想	<b>避難の準備が整い次第</b> 、土砂災害危険箇所や土砂災害警戒区域の外の少しでも安全な場所への <b>避難を開始</b> 。 <b>高齢者等は速やかに避難を開始する</b> 。	<b>避難準備・高齢者等避難開始</b>	<b>3</b> 相当
<b>注意(注意報級)</b> 2時間先までに注意報基準に到達すると予想	ハザードマップ等により避難行動を確認する。今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意する。特に、危険度分布をこまめに確認する。	—	<b>2</b> 相当
<b>今後の情報等に留意</b>	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	—	—

※1：大雨警報（土砂災害）の危険度分布に関わらず、自治体から避難勧告（警戒レベル4）等が発令された場合には速やかに避難行動をとってください。  
 ※2：警戒レベルについては、P6をご覧ください。





# 風水害

## 土砂災害について知っておきましょう

土砂災害の被害を軽減するには、普段から土砂災害に対する備えが必要です。家族で家のまわりの危険箇所を確認し、災害に備えて避難経路や避難場所について事前に話し合っておきましょう。

### 2つの土砂災害警戒区域

#### 土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

##### 土砂災害のおそれがある区域

###### 指定されると

災害情報の伝達や避難が早くできるように都道府県と市区町村などにより、警戒避難体制が整備される。

#### 土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

##### 土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがある区域

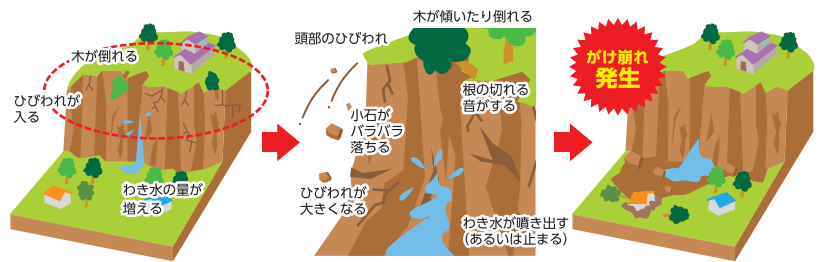
###### 指定されると

- 住宅宅地分譲、社会福祉施設など、特定の開発行為が許可制になる。
- 居室を有する建築物は、構造の安全性について建築確認が必要になる。
- 著しい損壊が生じるおそれのある建築物に対し、移転などが勧告される。

## 土砂災害の種類

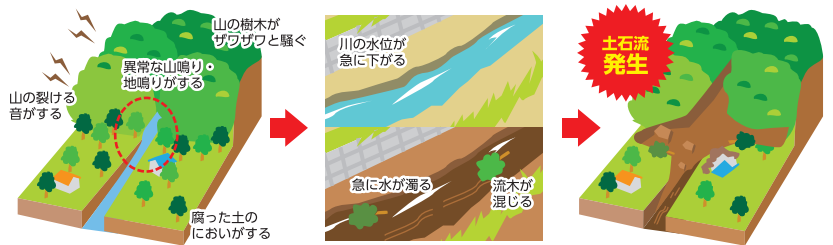
### がけ崩れ

地面にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



### 土石流

山腹・谷底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へ押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20~40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。

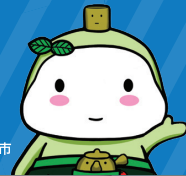


### 地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。



※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。普段と違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。



# 菊川市マイ・タイムライン

「マイ・タイムライン」とは、台風の接近など大雨が予想される際に、自分自身がとるべき標準的な防災行動計画です。台風等の風水害に備え、日頃から「あなたの行動」を確認しておきましょう。



マイ・タイムラインを作成して、可能な限り、自分の命は自分で守りましょう。

※P45にあなたのマイ・タイムラインを記入できる拡大版があります。

時間の流れ	事前に確認しておく情報	あなたの行動
<p><b>日常</b></p> <p>自分の地域を知る</p> <p>台風や大雨の予報</p> <p><b>警戒レベル1</b> 早期注意情報</p> <p>警報級の可能性</p> <p><b>警戒レベル2</b></p> <p>大雨注意報 洪水注意報 強風注意報</p> <p>大雨となる</p> <p>大雨警報 (土砂災害、浸水害)</p> <p>洪水警報 暴風警報</p> <p>河川の水位が上昇</p> <p>河川の水位が「避難判断水位」に到達</p> <p>台風に関する気象庁の記者会見(最大級の警戒を呼び掛け)</p> <p>大雨が一層激しくなる</p> <p>河川の水位が「冠水危険水位」に到達</p> <p>土砂災害警戒情報</p> <p>記録的短時間大雨情報</p> <p>大雨特別警報</p> <p>広範囲で数十年に一度の大雨</p>	<p>菊川市防災ハザードマップをもとに自分の住んでいる地域のハザード(洪水、土砂災害等)を確認する(市役所危機管理課で配布)</p> <p>●<b>菊川市防災ハザードマップ</b> 菊川市では令和3年4月に「菊川市防災ハザードマップ」を作成・配布しております。この防災ハザードマップは、防災に関する情報を市民の皆さんにわかりやすく解説し、事前の備えや災害時に注意すべき内容を1冊にまとめております。また、ハザードマップでは自宅周辺のハザード情報をあらかじめ確認することができます。災害の被害を減らすためにも、この防災ハザードマップをご活用ください。</p> <p><b>同報無線や茶こちゃんメールなど</b></p> <p>菊川市よりお知らせします。台風〇号は、強い勢力で〇日夜のはじめ頃から…今後の台風情報に注意するとともに、物が飛ばないように固定するなど事前の備えをしてください。</p> <p>●<b>菊川市公式茶こちゃんメール</b> 携帯電話に緊急情報、気象情報、指定避難所開設情報などを電子メールで配信するサービスです。</p> <p><b>同報無線や茶こちゃんメールなど</b></p> <p>菊川市よりお知らせします。台風〇号は、勢力を維持…なお、自主避難のために、以下の指定避難所を開設しました。</p> <p>●<b>指定避難所の開設状況を確認!</b> 市ホームページや茶こちゃんメール、フェイスブック、テレビデータ放送(NHK、SBS)などで、指定避難所の開設状況が確認できます。</p> <p><b>警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始</b></p> <p>●高齢者など避難に時間のかかる方とその支援者(家族等)は避難を開始する ●土砂災害の危険性がある区域や急激な水位上昇のおそれがある河川沿いでは、避難準備が整い次第、指定避難所などへ避難する</p> <p><b>警戒レベル4 避難勧告・避難指示(緊急)</b></p> <p>●指定避難所などへ速やかに避難する(避難完了) ●災害が発生してもおかしくない極めて危険な状況となっており、未だ避難していない人は、直ちに避難を完了する</p> <p><b>警戒レベル5 災害発生情報</b></p> <p>●すでに災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとります</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> あなたの住んでいる地域の危険はなんですか? <input type="checkbox"/> 洪水浸水想定区域 <input type="checkbox"/> 土砂災害警戒区域</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> あなたやあなたの家族に、避難の際、配慮を必要とする方はいますか? <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 住んでいる場所で気を付けなければならない川はありますか? 1. 川 / 2. 川 / 3. 川</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> あなたが行く指定避難所は? 風水害時: 地震災害時: 洪水時の避難として、河川の氾濫水の流れの力が大きく家屋の倒壊の危険がある、河川の流れにより土地が侵食され流出する危険がある、自宅の2階(一般的な日本家屋で浸水深3m以上)では安全が確保できない可能性がある、土砂災害発生時の危険がある、避難に時間がかかる場合には、指定避難所など安全な場所へ早めの避難が必要です。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 家族情報、決まり事等</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 台風が接近する前のあなたの対策は?(完了したら✓を入れよう) <input type="checkbox"/> 強風で飛ばされそうな物品の片づけ、固定をする <input type="checkbox"/> 土のうの準備などの自宅の浸水対策を実施する <input type="checkbox"/> テレビ、ラジオ、スマートフォン等から気象や河川の状況を確認する <input type="checkbox"/> 携帯電話を充電しておく <input type="checkbox"/> 食糧や水を買って置いておく <input type="checkbox"/> 家族の行動を確認しておく</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 非常持ち出し品をチェックしよう!(足りない物は買い出しする) <input type="checkbox"/> ヘッドライト(懐中電灯) <input type="checkbox"/> 毛布などの寝具 <input type="checkbox"/> くつ、スリッパ <input type="checkbox"/> 持病の薬 <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> 携帯電話(充電器) <input type="checkbox"/> 携帯食、飲料水 <input type="checkbox"/> 個人的に必要なもの※ ※例えば、哺乳びん、おむつ、予備メガネなど準備するものはありますか?</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> あなたが避難するタイミングと場所は? 避難するタイミング: 避難する場所:</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 避難する際の行動は?(完了したら✓を入れよう) <input type="checkbox"/> 周囲の状況、防災気象情報に注意する <input type="checkbox"/> 指定避難所( )の開設状況を確認する <input type="checkbox"/> 屋内で安全を確保する <input type="checkbox"/> 家族、知人等( )に避難することを伝える <input type="checkbox"/> 火の元、戸締りを確認する <input type="checkbox"/> 知人、親戚宅など近隣の安全な場所へ避難する すべて終わったら、避難を開始する!!</p> <p>●<b>命を守る!</b> 指定避難所への避難経路が危険であると自ら判断した場合には、命を守るために高い場所へ移動する。土砂災害が想定される住民は、裏山などの危険箇所から離れる。その時点で居る建物内においても、より安全な部屋等へ移動する</p>

※このタイムラインは、風水害に対する基本的な流れを目安として示したものです。市の情報などは、気象状況や地理的要因によって、必ずしもこの順番で発令されるとは限らないので、注意してください。※警戒レベル等は変更になる可能性もあります。

災害時の情報

風水害

地震

避難・日ごろの備え

ハザードマップ

台風の発生・梅雨前線の活発化など

数時間前

台風の上陸・線状降水帯の発生など